

世界自然遺産の登録基準の概要

世界自然遺産に登録されるには、学術的・客観的に以下の条件を満たすことが必要。また、審査に際しては、既に登録されている各国の自然遺産等との比較がなされる。

「世界自然遺産」の定義（条約第2条）

- ・無生物または生物の生成物または生成物群からなる特徴のある自然の地域であつて、鑑賞上または学術上顕著な普遍的価値を有するもの
- ・地質学的または地形学的形成物および脅威にさらされている動物または植物の種の生息地または自生地として区域が明確に定められている地域であつて、学術上あるいは保存上際立った普遍的な価値を有するもの
- ・学術上または保存上または自然の美しさという観点で、際立って普遍的な価値を有する自然の場所あるいは区域が明確に定められている自然の地域

現行の作業指針に定める世界自然遺産の登録基準（2002年改訂版・44節）

以下のクライテリアの1つ以上¹に適合し、かつ、完全性の条件²を満たすこと。

- () 生命の記録、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的または自然地理学的特徴を含む、地球の歴史の主要な段階を表す顕著な見本であること。
- () 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群の進化発展における、重要な進行中の生態学的・生物学的過程を表す顕著な見本であること。
- () 類を見ない自然美および美的重要性をもった、最上級の自然現象あるいは地域を包含すること。
- () 学術的・保全的観点から見て、顕著な普遍的価値をもつ、絶滅のおそれのある種を含む、生物学的多様性の本来の状態における保全のために最も重要な自然の生息生育地を包含すること。

1 登録地域の大部分は二つないし三つのクライテリアを満たすもの（45節）。なお、最近では、クライテリア()単独での評価による登録の例はない。

2 完全性の条件の概要

- ・重要な関連する自然要素のすべて、あるいはほとんどを含むこと。()
- ・十分な規模と必要な要素を含むこと()
- ・際立ってすぐれた美的価値を持ち、美的価値の長期的維持に不可欠な地域を含むこと()
- ・属する生物地理区分及び生態系における最も多様性に富んだ動植物相の特徴を維持するための生息地を含むこと()
- ・管理計画が必要（共通）
- ・法律、規則、制度による長期的で適切な保護が必要（共通）
- ・生物多様性の保全において最も重要な地域であるべき（共通）

世界遺産条約作業指針における自然遺産登録基準の変遷

概要

1977年：最初の作業指針では、各クライテリアの例がかなり具体的に記述されていた。
また、クライテリア(i)は地球の過去の歴史、(ii)は進行中のもの、と区別されていた。

1980年：具体例が削除された。完全性の条件に国家間で移動する動物種の生息地保護に関する条件が加わった。

1988年：完全性の条件に、各クライテリア毎の条件の他に、法的保護や管理計画が加わった。

1994年：文化的景観の概念導入に伴い全面的に書き直され、現行の形となった。クライテリア(i)は地質学的な要素、(ii)は生態・生物学的要素、(iii)は美的景観、(iv)は生物多様性と整理され、(ii)から人類と自然環境の相互作用が削除された。また、完全性の条件も各クライテリア毎の条件の他に3条件となり、自然遺産における生物多様性保全の重要性が強調されるようになった。クライテリア毎の条件では例示が増えた。

2003年（提案中）：文化と自然のクライテリアの区分を取り払う、各クライテリアの内容は変更ないが、完全性の条件は文化遺産にも拡張され、法的保護や管理計画が完全性とは別の条件となるなどの変更が提案されている。

各クライテリアに該当する世界自然遺産の事例

(世界遺産センターホームページ <http://whc.unesco.org/nwhc/pages/sites/main.htm> の Brief Descriptions より仮訳) (~ は資料3の地図上の番号に対応)

クライテリア N(i)

ジャイアンツ・コースウェーとコースウェー海岸 (イギリス 1986 年登録) N(i)(iii) (面積 0.7 km²)

北アイルランドのアントリム台地の端の海岸。約 40,000 の玄武岩の黒い石柱が海の中にそびえており、巨人がスコットランドに渡るのに使ったという伝説に基づく地名。この地に関する過去 300 年間の地質学的研究は地球科学の発展に大きく寄与し、この地形は約 5 - 6 千万年前の第 3 紀の火山活動で形成されたことが判明している。

ミグアシャ公園 (カナダ 1999 年登録) N(i) (面積 16.5km²)

ケベック州南東部のガスペ半島にあり、3 億 7 千万年前の「魚の時代」として知られるデボン紀について世界で最も代表的な例と考えられる。この時代に知られている 6 群の魚類化石のうち 5 群がこの地で見られる。この地の重要性は陸棲四つ足動物の先祖となった総鱗類の化石を多数、しかも良い保存状態で有していることである。

クライテリア N(ii)

ガラパゴス諸島 (エクアドル 1978 年登録 2001 年海域に拡張) N(i)(ii)(iii)(iv) (面積 133,000 km²)

南米大陸から約 1,000km 離れた太平洋上に浮かぶ 19 の島とその周囲の海洋保護区は「生きた博物館、進化のショーケース」と呼ばれている。3 海流がぶつかりあう地点で海洋種の「るつぽ」となっている。継続している地震・火山活動は島が形成された地質活動を反映している。こうした地質活動に加えて島が孤立していることから、リクイグアナやゾウガメ、多様なフィンチ類など、特異な動物相が発達し、チャールズ・ダーウィンが 1835 年の訪問の後に発表した進化論のきっかけとなった。

ケニア山国立公園 / 自然林 (ケニア 1997 年登録) N(ii)(iii) (面積 1,420km²)

標高 5,199m でケニア山はアフリカ大陸で二番目に高い。古い死火山で、310~260 万年前の活発に活動していた頃は 6,500m 程度の高さがあったと考えられている。氷河の名残が 12 カ所あるがいずれも急速に消失しつつあり、U字型の氷河渓谷の上に 4 つの峰がある。氷河に覆われたごつごつした頂上と中腹の森林によって、ケニア山は東アフリカで最も印象的な景観の一つである。またこの地におけるアフリカ山地植生の進化、生態は、生態学的過程の顕著な例となっている。

クライテリア N(iii)

グランド・キャニオン国立公園 (アメリカ 1979 年登録) N(i)(ii)(iii)(iv) (面積 4,931 km²)

コロラド川に削られてできたグランド・キャニオン (深さは 1,500m 近くある) は世界

で最も壮観な峡谷である。アリゾナ州に位置し、グランド・キャニオン国立公園を横断している。水平地層は 20 億年の地質史を示している。また過酷な環境に適応した前史人類の遺跡もある。

イグアス国立公園(アルゼンチン 1984 年登録・ブラジル 1986 年登録)いずれも N(iii)(iv) (面積各 555 km²、1,700 km²)

アルゼンチンとブラジルの国境に位置し、直径 2,700m の半円形で高さ 80m の滝である。いくつもの小滝が水をきらめかせ、世界で最も壮観な滝の一つである。周囲は亜熱帯雨林で、2,000 種以上の維管束植物が生育し、バク、オオアリクイ、ホエザル、オセロット、ジャガー、オオカワウソ、カイマンなど地域特有の野生動物の生息地となっている。

クライテリア N(iv)

アルガン礁国立公園 (モーリタニア 1989 年登録) N(ii)(iv) (面積 12,000 km²)
大西洋に面した本公園には砂丘、海岸湿地帯、小島、浅瀬などがある。厳しい砂漠環境と海洋の生物多様性の対比が美しい景観を作り出している。多様な渡り鳥が越冬する。ウミガメやイルカも数種類生息しており、漁師によって魚群誘致に利用されている。

ディスカヴァリー・コースト大西洋岸森林保護区 (ブラジル 1999 年登録) N(ii)(iv) (面積 1,120 km²)

バイア州からエスピリト・サント州にかけて 8 カ所の保護区から成り、112,000ha の森林を有する。ブラジルの大西洋岸熱帯雨林は世界で最も生物多様性に優れている。固有種が多く、進化のパターンを示すような独特の生物種を有しており、これは科学的興味ばかりでなく保全上も重要な地域である。

シリアル・ノミネーション

上記ディスカヴァリー・コースト大西洋岸森林保護区のように、複数の連続していない地域を含む遺産の推薦はシリアル・ノミネーションと呼ばれている。これについて、作業指針 (19 節) で以下のように定めている。

別々の場所にある一連の地域に以下のような関係があり、個々の要素ではなくシリーズとして顕著な普遍的価値がある場合には、単一の遺産として登録推薦することができる

- (i) 文化史上、同一のグループに属している
- (ii) 同じ地理学的ゾーンの特徴を持つ
- (iii) 地形学的形成、生物地理区分、生態系の型などが同じ

世界遺産センターの説明によると、シリアルは個別の地域が個々に世界遺産の価値に合致しなくてはならず、さらにそこに統一したテーマがあるものとされている。個別地域の管理計画の他、全体としての管理計画があることが望ましい。

シリアル・ノミネーションの例には、オーストラリアの中東部オーストラリアの多雨林保護区や、700 以上の洞窟で構成されるハンガリーとスロバキアの共有遺産のアグレック・カルストとスロバキア・カルストの洞窟群などがある。